

研究・調査報告書

報告書番号	担当
30	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Alcohol drinking, tobacco smoking, and anthropometric characteristics as risk factors for thyroid cancer: a countrywide case-control study in New Caledonia. 飲酒と喫煙、人体計測的なリスク要因と甲状腺癌の関係について ニューカレドニアにおけるケースコントロールスタディより</p>	
執筆者	
Guignard R, Truong T, Rougier Y, Baron-Dubourdieu D, Guénel P.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2007 Nov 15;166(10):1140-9. Epub 2007 Sep	
キーワード	
BMI、飲酒 喫煙 甲状腺癌 ケースコントロールスタディ、ニューカレドニア	
要 旨	
<p>ニューカレドニアでは、甲状腺がんの発生が高頻度に見られる。特にメラネシアン女性においてその傾向がある。</p> <p>甲状腺癌の発生原因と、発生頻度を上げる要因を明確にするため多民族によるケースコントロールスタディを実施した。1993年から1999年に乳がんまたは卵巣がんとして診断された332人(女性293人 男性39人)と412人(女性354人 男性58人)を5歳ごとに年齢調整をした。甲状腺癌は飲酒、喫煙と負の関連があったが、しかし負の容量反応関係は認められなかった。身長は甲状腺癌と正の関連が特に男性においては認められた。体重とBMIにおいて50歳もしくはそれ以上のメラネシアン女性において強い関連があり、普通の体重女性と比較し、BMI 35以上になるとオッズ比は5.5(95%信頼区間:1.5-20.3)であり明らかに増加する傾向であった。この研究は甲状腺がんの発生が閉経後女性の肥満との関連を示唆するものであった。なぜならニューカレドニアにおけるメラネシアン女性では肥満の割合が非常に高いので、甲状腺癌の発生が例外的に高いということを部分的に説明しているかもしれない。</p>	